

TAYCA REPORT

第153期 中間報告書

平成30年4月1日から平成30年9月30日まで



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成30年9月30日をもちまして、第153期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長
名木田 正男



当第2四半期連結累計期間における業績のポイント

- ▶ 連結子会社の売上増が寄与したほか、機能性用途の微粒子酸化チタンや表面処理製品の販売が引き続き好調に推移した一方で、製造原価の上昇などにより、増収減益。

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当金は1株当たり16円とさせていただきます。

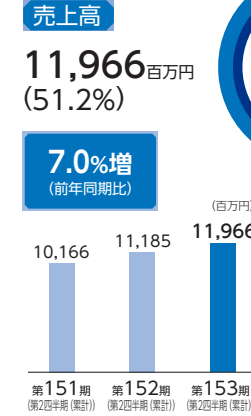
年間配当金 (平成31年3月期)

中間 16円	期末 16円 (予定)
-----------	----------------

酸化チタン関連事業

汎用途の酸化チタンは、国内の塗料向けの販売数量は減少したものの、世界的な需給逼迫状態にあるなか、輸出は堅調に推移し、売上高は前年同期並み。

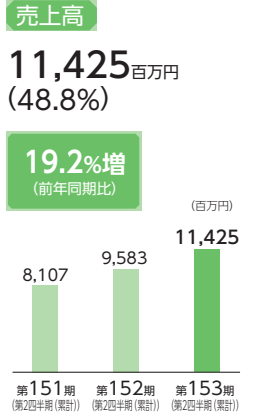
機能性用途の微粒子酸化チタン、表面処理製品は、化粧品向けのインバウンド需要や輸出が好調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を大きく上回る。



その他事業

界面活性剤は、海外の連結子会社の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。無公害防錆顔料は輸出が好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。導電性高分子薬剤はコンデンサ向けが好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。

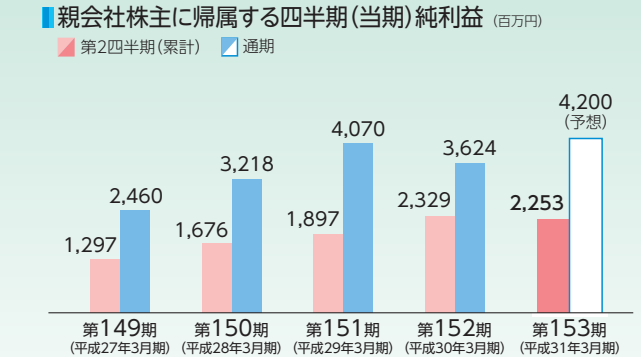
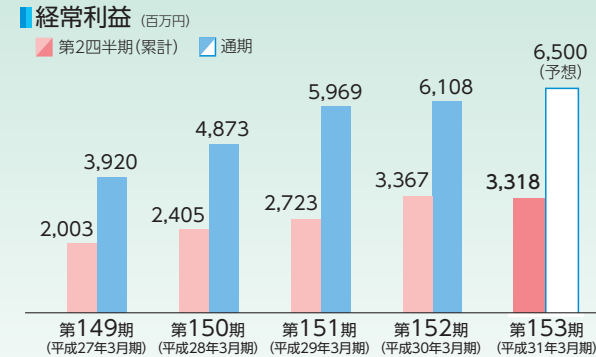
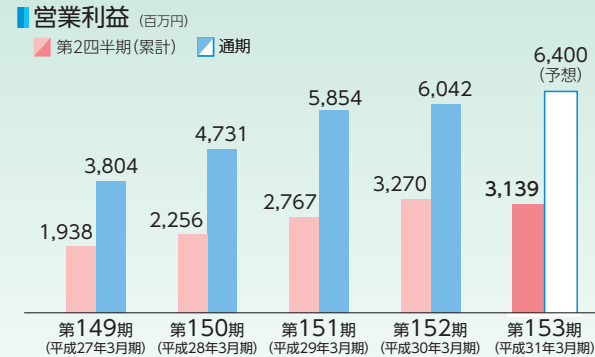
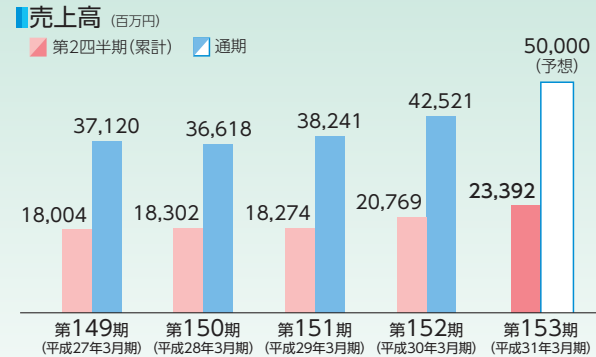
倉庫業は運賃収入が増加したことなどにより、売上高は前年同期を上回る。圧電材料は医療機器向けの販売が堅調に推移し、また当期から米国TRS社の売上も寄与したことにより、売上高は前年同期を上回る。



主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売 セリサイト製品の販売	当社 テイカ商事(株) ジャパンセリサイト(株)

主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、圧電材料等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) テイカM&M(株) TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD. TRS Technologies,Inc.

連結財務ハイライト





テイカのチカラ Vol.9 製品力

「化粧品原料事業拡大」編

テイカの事業について、わかりやすくテイカ博士をご紹介します。
第9回は「化粧品原料事業拡大」です。

世界シェアNo.1事業のさらなる拡大へ

テイカは化粧品原料におけるグローバルニッチトップ企業です。

当社は日焼け止め化粧品用途の微粒子酸化チタンで約6割、微粒子酸化亜鉛で約5割の世界シェアを獲得しています。日焼け止め用途においては、ともに世界シェアNo.1を誇る製品です。

今後も、これらのシェアをさらに伸ばして確固たる地位を築くとともに、世界シェアNo.1の事業・製品を増やしていきます。

テイカから世界へ！



機能性微粒子製品の製造設備を新設

化粧品原料となる機能性微粒子製品の製造設備新設工事を開始しました。

機能性微粒子製品（微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛等）は当社岡山工場（岡山市東区西幸西1072番地）で製造していますが、化粧品用途を中心に国内外の販売量が年々増加しています。

そこで、ユーザーへの安定供給と、今後のさらなる成長に対応するため、岡山工場の既存の製造設備を改善するとともに、熊山工場に機能性微粒子製品の製造設備を新設します。

機能性微粒子製品は、世界中で今後さらなる需要拡大が期待されています。



起工式の様子(2018年4月)



工事中的新製造設備(2018年10月に撮影)

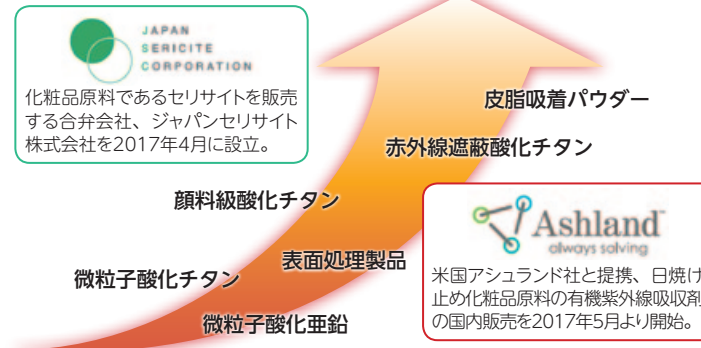
- 生産品目 機能性微粒子製品（微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛等）
- 生産能力増加 1,000トン/年（既存製造設備の改善を含む）
- 新設設備所在地 岡山県赤磐市小瀬木50番地1 当社熊山工場内
- 完成時期 2019年（平成31年）2月末予定
- 設備投資額 約20億円（予定）

化粧品事業をさらに拡大

日焼け止め原料メーカーから化粧品原料総合メーカーへ進化を続けています。

当社はこれまで、日焼け止め化粧品原料を中心に微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛や表面処理製品を開発・販売してまいりました。そして現在では、皮脂吸着パウダーや赤外線遮蔽酸化チタンの開発、さらに他社との提携を通じてセリサイトや有機紫外線吸収剤の販売を行うなど、取り扱い製品を拡大。日焼け止め原料だけでなく、さまざまな化粧品原料の取り扱いを行っています。

日焼け止め原料メーカーから化粧品原料総合メーカーへ



今後、グローバルニッチトップ企業として、お客様のニーズに応える高付加価値製品の開発・製造・販売を行います。

情報提供およびグローバル展開



テイカ東京クリエーションラボラトリー（東京都中央区日本橋3-8-2）

「お客様との距離をゼロに！」がコンセプトです。

化粧品分野に特化した研究室「テイカ東京クリエーションラボラトリー」を2015年（平成27年）5月に開設しました。

当社製品を最大限にご活用頂くために、この研究室を通じて、化粧品処方などの情報発信に努めています。

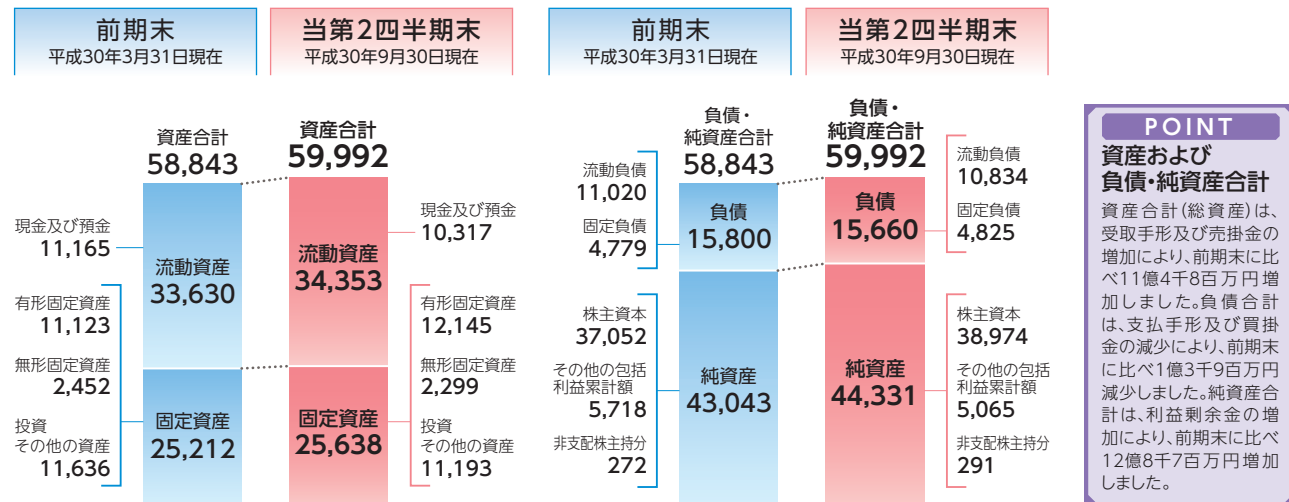
世界シェアの拡大へ、グローバル展開を図ります。

当社では世界シェアの拡大に向け、グローバル人材の育成に注力しています。海外での展示会に積極的に出展するとともに、英語をはじめ、中国語やスペイン語などの言語への対応を可能としています。

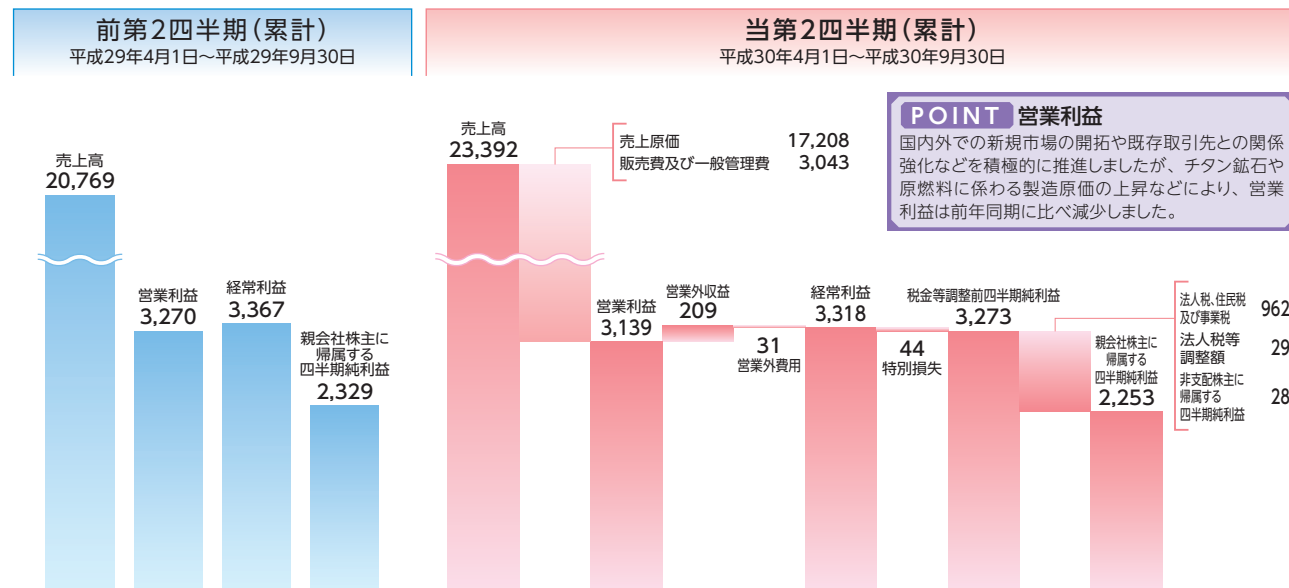


海外での展示会の様子(左:中国、右:韓国)

■ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



■ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



■ 株式の状況 (平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数 75,000,000株
 発行済株式の総数 25,714,414株
 株主数 3,688名
 大株主

株主名	所有株式数 (千株)
三井物産株式会社	1,784
三菱商事株式会社	1,630
KBL EPB S.A. 107704	1,609
山田産業株式会社	1,470
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	1,009

(注) 当社は、自己株式2,204千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

■ 会社概要 (平成30年9月30日現在)

設立 大正8年12月
 資本金 9,855,953,999円
 従業員 503名
 事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)

役員	氏名	性別
代表取締役社長	名木田 正	男
専務取締役	山崎 博史	男
常務取締役	辺見 武志	男
取締役相談役	清野 學	男
取締役	戸澤 正明	男
取締役	西野 雅彦	男
取締役	出井 俊治	男
取締役	田中 等	男
取締役	尾崎 まみこ	女
常勤監査役	岡田 功勝	男
常勤監査役	宮崎 晃	男
監査役	山田 裕幸	男
監査役	山本 浩二	男

(注) 取締役 田中等、尾崎まみこの両氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中等、尾崎まみこ、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会基準日 3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 中間配当金受領株主確定日 9月30日
 定時株主総会 6月下旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 電話0120-094-777 (通話料無料)

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法 電子公告
 公告掲載URL
<http://www.tayca.co.jp/>
 (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

テイカ 100周年へ

あの日あの時 第11回

2004年9月、 本社部門 日土地淀屋橋ビルに移転

2004年（平成16年）9月、大阪市中央区博労町の御堂筋エスジービルから、現在の日土地淀屋橋ビル（大阪市中央区北浜）へ本社部門を移転しました。



本社 日土地淀屋橋ビル



熊山工場【左側が工場棟、右側が事務所・研究棟】
(2006年9月)

2006年9月、熊山工場が竣工

主に化粧品の原料である表面処理製品の本格的な生産は岡山工場長船分工場（当時）において開始され、順調に販売数量を増やしました。さらなる販売の伸長に対応するため、岡山県赤磐市熊山町の工業団地を購入。2006年（平成18年）9月に熊山工場としての稼働を開始し、表面処理製品事業の推進を図りました。

2009年4月、 機能性微粒子製品の製造設備が竣工

化粧品分野における紫外線対策への関心の高まりによる需要増加に対応するため、微粒子酸化チタンを主とする機能性微粒子製品の製造設備の新設工事を岡山工場内（岡山県岡山市東区）で2008年（平成20年）1月に開始し、2009年（平成21年）4月に竣工しました。



新設された機能性微粒子製品の製造設備



<http://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。